

# 「くまの木」ヒトとムシの楽園プロジェクト

会報ムシプロ18号

2018年9月



ツクツクボウシ (セミ科)

## 目次

- 1. 9月の活動について . . . . . 2
- 2. ムシプロだより . . . . . 3~4
- 3. 自然の楽しみ方 (秋) . . . . . 5
- 4. 事務局より . . . . . 6
- 今月の表紙 . . . . . 6

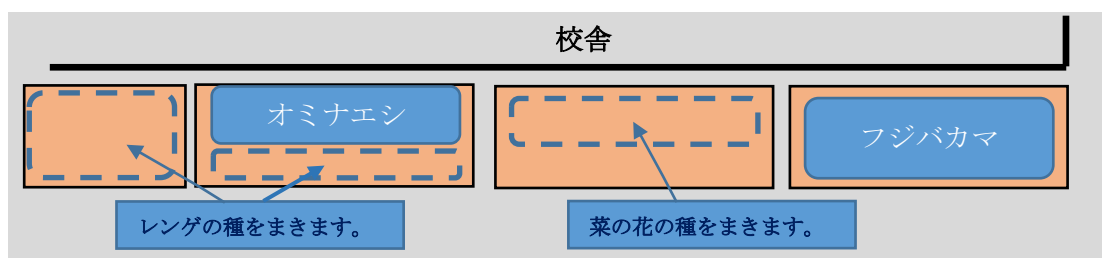
## 1. 9月22日（土）の活動について

9月22日（土）の活動の概要です。

### ① 作業の内容

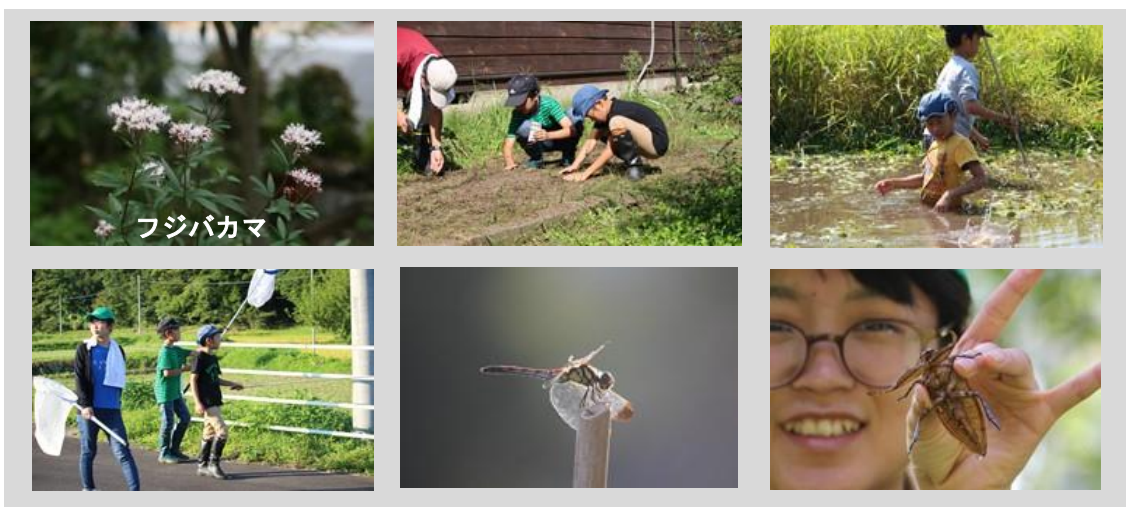
花壇の整備を中心に行います。また、ビオトープの雑草取りを行います。

- 2月～5月に花が咲く「菜の花」と「レンゲ」の種を蒔きます。菜の花・レンゲは、花を楽しめるだけでなく花後、緑肥として花壇の土壌改善にも有効です。



### ② 観察の見どころ：『小さい秋を見つける』

- 花壇：フジバカマ、オミナエシが見頃を向かえています。
- トンボの観察：くまの木周辺でトンボの観察を行います。赤トンボを中心に採集して種類を同定します。一口に赤とんぼと呼んでいますがそれぞれに個性があることがわかります。
- ビオトープの生き物観察：秋は、夏から秋にかけて新成虫が出現し最も個体数が多くなる季節です。さらに田んぼの水が抜かれたことで水棲昆虫が水のある所に集結しています。タガメ、ゲンゴロウなど大型の水棲昆虫との出会いが期待できます。



## 2. ムシプロだより



### ノコギリクワガタ 小林 寛明

夏休みに千葉市若葉区に昆虫を探しに行ったときに捕まえたクワガタです。

顎の形が珍しいので、喜び写真を撮って家の図鑑で調べたところ、ノコギリクワガタと知って少しガッカリしました。



### スミナガシ 吉田 義秀

2017年7月にムシプロの活動で行った「県民の森の遊歩道」で撮影しました。2017年7月8日のゲートウェイに幼虫の写真が掲載されています。幼虫も蛹も独特な形状をしています。以前成虫の写真も撮影していますので参考に送付します。口（口吻）が濃いピンク色でこれも独特です。



### アカガネサルハムシ 西野 孝法

千葉県千葉市花見川区で撮影しました。

ノブドウに集まっていました。体は小さいですが、金属光沢のある緑と赤銅色でよく目立ちます。

見られる時期は、4～7月です。



#### スジボソコシブトハナバチ 熊谷 義昭

顎で葉っぱの端を咥えて休んでいます。顎の下方に吸蜜する口吻が見えます。

下の画像は、翌日撮影したもので同じ場所にいました。水平状態で停まり、後脚でグルーミングしていました。



#### 小笠原 隆 (カミキリムシ博士)

- 1) ベニカミキリ 山梨県下部町 2005年5月  
ピラカンサ花上で交尾中
- 2) ヨツスジハナカミキリ 群馬県片品村 2005年8月  
立枯れ木に産卵中
- 3) ミドリカミキリ 山梨県塩山市 2005年6月  
葉上静止
- 4) シラフヒゲナガカミキリ 群馬県片品村 2005年8月  
針葉樹の倒木上



### 3. 自然の楽しみ方（秋）

#### ● トンボ博士になろう②（卵の産み方の違い）

トンボは、水辺に卵を産むが、卵の産み方は、大きく二つに分けられる。一つは、メスの尻尾（腹）の先に「産卵管」を持つグループで、産卵管を使って植物の茎や泥の中に卵を産む。イトトンボ科、カワトンボ科、ヤンマ科がこのグループになる。静止して時間をかけて産卵するのでじっくりと観察できる。二つ目は、尻尾（腹）の先から卵を産み落とすグループだ。産み落とす方法は、水面から産み落とすものと空中から産み落とすものがある。サナエトンボ科、トンボ科がこのグループになる。稲刈りの終わった田んぼで産卵する姿を見ることが出来る。

（文 西野 孝法 / 写真 熊谷 義昭・西野 孝法）

#### 産卵管を持つグループ



産卵管を使って水草の茎に産卵するギンヤンマ（撮影熊谷）



メス単独で流水の中に産卵するオニヤンマ（撮影熊谷）

#### 尻尾の先から産み落とすグループ



尻尾の先を水面につけて卵を産み落とすアキアカネ



空中から卵を産み落とすノシメトンボ  
尻尾の先に卵が見える

## 4. 事務局より

会報の「表紙」と「自然の愉しみ方」で紹介した画像をイメージゲートウェイに登録しています。Wordに貼りつけてある画像より綺麗です、ご覧ください。アドレスは以下のとおりです。パスワードは、必要ありません。

<https://opa.cig2.imagegateway.net/s/cp/DMCYuTBGLSE>

画像はダウンロードできます。

2018年9月1日発行

発行： くまの木ヒトとムシの楽園プロジェクト

編集責任者： 西野 孝法

〒262-0026 千葉県 千葉市 花見川区瑞穂3-3-26

TEL: 090-9327-5606

Eメール：[harukan@ac.auone-net.jp](mailto:harukan@ac.auone-net.jp)

### 今月の表紙

#### ツクツクボウシ (セミ科)

- ・ツクツクホウシ (法師) と呼ぶ人もいる。
- ・警戒心が強いので鳴く姿を見ようと近づくと鳴くのを止めてしまう。



ニイニイゼミ、アブラゼミの鳴き声を聞くと夏休みに安物の網を持ってセミを追った子供のころを思い出だす。これに対してツクツクボウシの鳴き声を聞くと「やり残したことはないか？」などとザワザワとした気持ちになる。

ツクツクボウシの鳴き声は、鳴き始めから終わりまで変化があり、まるで曲の構成のようだ。

是非、立ち止まって楽しんで欲しい。

以下、私の「聞きなし」です。

(前奏) ジュクジュクジュクジュク

(Aメロ) ツクツクボウシ、ツクツクボウシ

(サビ) ツクツクボーシ! ツクツクボーシ!

(Bメロ) ギュ〜イ、ギュ〜イ、ギュ〜イ

(エンディング) ツクツクツク.....

※サビの部分では大きく、早いリズムで盛りあがる。

